

京都教育大学生協 × 滋賀大学大津地区生協
× 奈良教育大学生協 教育系大学連帯会議



[組合員交流]

取り組み概要

日時：20/12/28～21/02/11
場所：オンライン
参加者数や組合員の反応：
3大学からそれぞれ1人ずつ代表で出席

背景や概要：前年度に行った相互訪問を、前年度参加した学生から「今年もしたい」と声があがり、実現に向けて代表者で会議を進めてきました。

自発的に手をむずび、
励まし合う

POINT.1

京教の大学生生活説明会を3大学で振り返る



相互訪問の実現に向けて、3回会議を行いました。1回目は、顔合わせと今後の流れを共有、2回目は、相互訪問を行う企画紹介、3回目は、相互訪問する参加者集約の結果と当日のお知らせを共有しました。

2回目の会議では、企画の紹介とともに、会議の4日前に京都教育大学生協の大学生生活説明会が対面で実施されたので、取り組みを共有し、意見交流を行いました。対面企画を検討していた滋賀大大津地区生協・奈良教育大生協の学生から、**感染症対策のため講じた工夫点について質問があり、感染症対策について意見交換がされていました。**

会員同士が取り組みの成果・課題を話し合うことで、**3大学で自発的に取り組みを教訓化しているところ**が良い点ですね。

POINT.2

励まし合う場を自分たちが作る

3回目の会議では、相互訪問する参加者集約の結果と当日のお知らせを共有するとともに、各大学のお悩み相談を行いました。

3人の学生がいづれも、自大学の学生委員のモチベーションに対して悩みを持っていることを**共感**し、モチベーションをあげるためにはどうすれば良いか**相談**しました。**教育系大学という共通点がある3大学だからこそ共感できることが多かったのではないかと思います。**

似ている会員同士が手を取り合い、お互い励まし合う場を会員が**自発的に**作ることで**相互成長**につながっていますね。



POINT.3

頑張っているのは自大学だけじゃない！



2/11の奈良教育大学生協大学生生活説明会のリハーサルに、京都教育大生協の学生委員が5名参加し、相互訪問が実現しました。

リハーサル後には、京都教育大生協の参加者と、奈良教育大の大学生生活説明会実行委員で感想交流が行われました。

京都教育大生協の参加者の声として、「**頑張っているのは私たちだけじゃないことを実感できました。**」とありました。

新型コロナウイルス感染症の影響で、例年と異なる取り組みを行っている会員が多いと思います。今回の相互訪問で、**自大学以外にも支え合い、励まし合える仲間がいることに気づくことができていました。**

3月にも相互訪問し合う予定です。継続して連携を進めていくところが良いですね。

